

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局
東京空港整備事務所D滑走路プロジェクト推進室
〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-5-7
TEL：03-5756-6575 (環境担当)
<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

国土交通省東京航空局
飛行場部 空港企画調整課
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-1-15
TEL：03-5275-9298
http://www.mlit.go.jp/tokyo_cab/

東京国際空港再拡張事業における 工事中の環境監視計画

Tokyo International Airport

■ 環境保全へのとりくみ ■

平成19年
3月



R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



完成イメージ図 ▶

国土交通省 関東地方整備局
国土交通省 東京航空局

■ はじめに

東京国際空港再拡張事業は、2,500mの滑走路の新設及び約97haの公有水面の埋立を行うものであり、環境影響評価法第2条第4項に基づく対象事業に該当することから、事業者である国土交通省関東地方整備局及び東京航空局が、環境影響評価の手続きを行い、平成18年6月に環境影響評価書を取りまとめました。

事業の実施にあたっては、「環境監視」として環境影響評価書において検討した環境保全措置や継続的な調査の実施、さらには必要に応じて代償措置を含めた保全方策等により、環境への影響の低減、環境の保全及び改善に努力していきます。

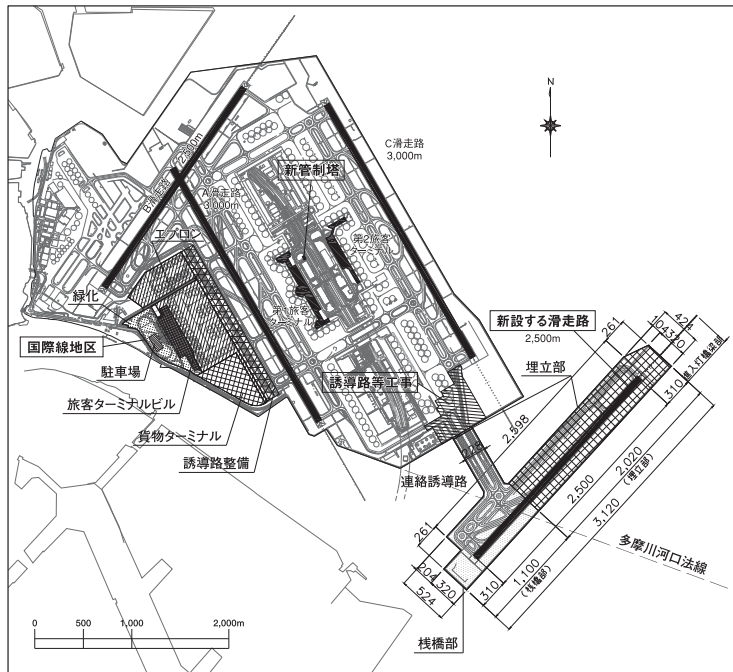
このリーフレットは、工事中に実施する環境監視調査の計画をまとめたものです。

■ 事業の概要

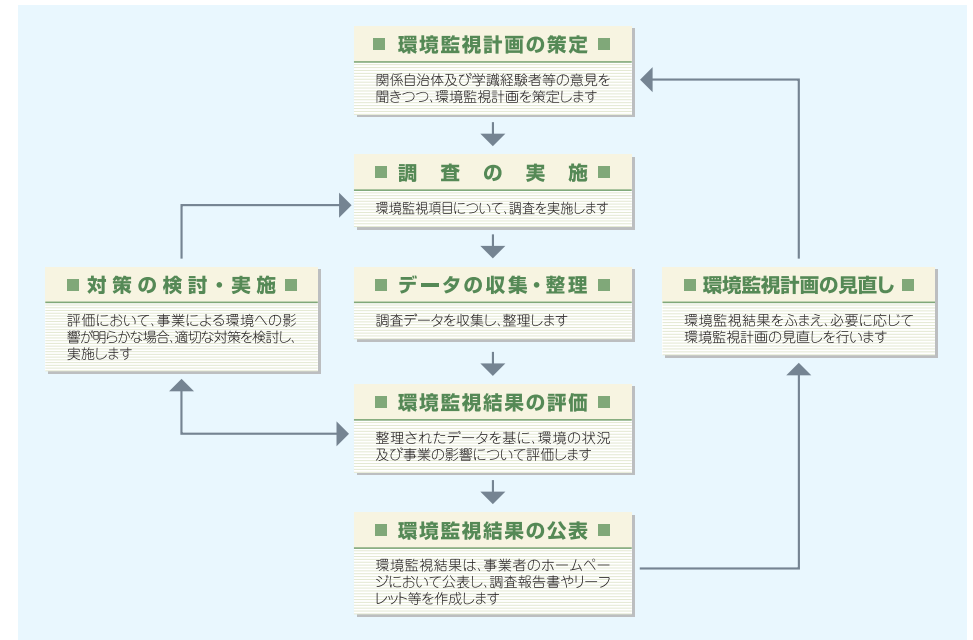
東京国際空港再拡張事業は、新設する滑走路の建設及び飛行場施設の建設並びに維持管理を行うものです。

新設する滑走路は、埋立・栈橋組合せ構造とします。また、既設空港との連絡誘導路部は、栈橋・橋梁組合せ構造とします。

飛行場施設として、滑走路、誘導路、エプロン等の基本施設整備、旅客ターミナル、貨物ターミナル、駐車場等の空港施設整備を行います。また、新管制塔の整備も行います。



■ 環境監視の実施手順



■ 環境監視結果

環境監視結果については、環境管理目標及び環境保全措置の実施状況から、環境保全上の問題の有無を評価します。評価の結果、当該工事に起因して環境保全上の問題があると認められる場合には、適切な対策を実施します。

環境管理目標

監視項目	大気質	二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質	環境基準及び要請限度等の達成と維持に支障を及ぼさないこと
	騒音	道路交通騒音	
	振動	道路交通振動	
	水質	濁度 (SS)	各評価点とバックグラウンド監視点のSS換算値の平均値の差が10mg/L以下であること
	悪臭、流況、水質 (濁度以外)、底質、海岸地形、動物、植物、生態系、人と自然との触れ合いの活動の場		工事前調査結果と比較して著しい変化が無いこと

環境保全措置の実施状況

大気質、騒音、道路交通振動、悪臭、水質 (土砂による水の濁り)、底質、動物・植物、人と自然との触れ合いの活動の場、廃棄物等、温室効果ガス等について、環境影響評価において検討した「環境保全措置」が適切に実施されていることを確認します。

例えば、工事中の大気環境としては「建設機械の使用にあたっては、排出ガス対策型建設機械の採用を指導する。」等、水環境としては「浚渫時及び土砂の投入時においては、汚濁防止柵や濁りを極力発生させない作業船 (トレミー船等) を使用する。」等です。

■ 環境監視計画

大気質

建設機械及び作業船の稼働や、資材運搬等のための車両運行は、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、粉じん等を排出することから、これらの影響を把握するために、一般環境大気質及び道路沿道大気質の調査をそれぞれ実施します。

一般環境大気質 (図1: ①, ⑥, ⑦)	窒素酸化物(二酸化窒素、一酸化窒素) 浮遊粒子状物質 二酸化硫黄 粉じん等 風向、風速、建設機械等の稼働台数
道路沿道大気質 (図1: ①, ②, ④)	窒素酸化物(二酸化窒素、一酸化窒素) 浮遊粒子状物質 二酸化硫黄 粉じん等 交通量(工事用車両・一般車両)

騒音

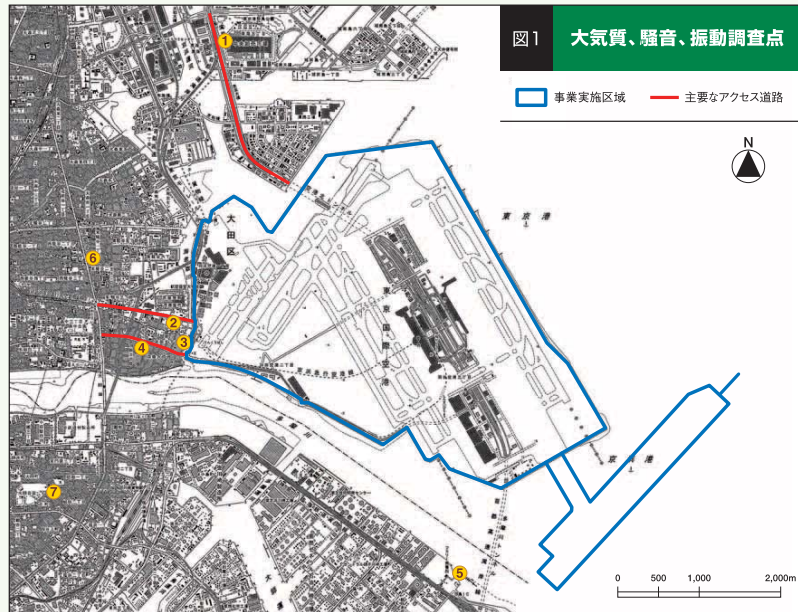
建設機械及び作業船の稼働や、資材運搬等のための車両運行は、騒音を発生することから、これらの影響を把握するために、建設作業騒音及び道路交通騒音の調査をそれぞれ実施します。

建設作業騒音 (図1: ③, ⑤)	騒音レベル 建設機械等の稼働台数
道路交通騒音 (図1: ①, ②, ④)	騒音レベル 交通量(工事用車両、一般車両)

振動

資材運搬等のための車両運行は、振動を発生することから、これらの影響を把握するために、道路交通振動の調査を実施します。

道路交通振動 (図1: ①, ②)	振動レベル 交通量(工事用車両、一般車両)
----------------------	--------------------------



悪臭

工事によって悪臭が発生する可能性があることから、この影響を把握するために、調査を実施します。

悪臭 (図2: ▲観測点 ●探泥点)	特定悪臭物質濃度、臭気濃度、風向、風速
--------------------------	---------------------

流況

流況は、水質、底質の分布状況、水生動植物の生息・生育環境や生態系の形成における重要な環境要素であることから、長期的な状況を把握するために、工事中から調査を実施します。

流況 (図2: ▲30登観測点 ■定点連続観測点)	流向・流速
---------------------------------	-------

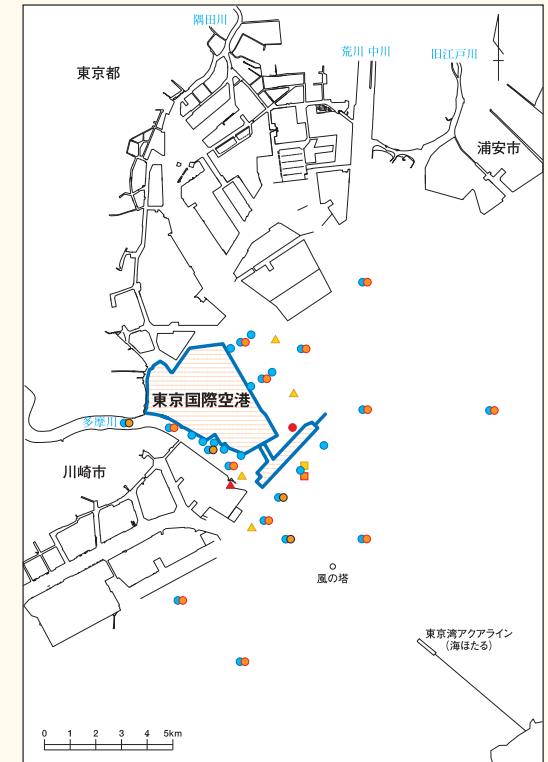
水質

水質は、底質の分布状況、水生動植物の生息・生育環境や生態系の形成における重要な環境要素であることから、長期的な状況を把握するために、工事中から調査を実施します。

水質 (図2: ●観測点 ○健康項目測定点 ■定点連続観測点)	水温、塩分、透明度、pH、濁度、DO、クロロフィルa
	水色、赤潮・青潮状況、船舶の航行状況、気象・海象、油膜等
	塩分、SS、VSS、pH、DO、COD、n-ヘキサン抽出物質、栄養塩類(T-N、T-P)、クロロフィルa
	人の健康の保護のために定められる環境基準による項目(健康項目)

図2 悪臭、流況、水質、底質及び海岸地形、底生生物調査点

■ 事業実施区域



底質及び海岸地形

工事によって発生する土砂の濁り等から影響を受ける可能性があること、また、底層の水質、水生動植物の生息・生育環境の形成における重要な環境要素であることなどから、長期的な状況を把握するために、工事中から調査を実施します。

底質及び海岸地形 (図2: ●)	泥色、泥温、臭気、混入物の有無、粒度組成、COD、強熱減量、全硫化物、T-N、T-P、水深
---------------------	---

水質(濁り)

工事によって発生する土砂の濁り等が、水生動植物及び生態系に影響を及ぼす可能性が考えられることから、これらの影響を把握するために、調査を実施します。調査は、工事中毎日1回行います。

水質(濁り) (図3: ★評価点 ◆バックグラウンド点)	水温、塩分、透明度、濁度、SS(換算)、pH、DO、クロロフィルa 水色、赤潮・青潮状況、船舶の航行状況、気象・海象等、油膜等
------------------------------------	--

図3 水質(濁り)調査点

■ 事業実施区域



動物

工事によって発生する土砂の濁り等が、水生動物に影響を及ぼす可能性が考えられることや、存在・供用時の流況、水質、底質、地形等の変化が、水生動物及び陸生動物の生息に影響を及ぼす可能性が考えられることから、長期的な状況を把握するために、工事中から調査を実施します。

水生動物	動物プランクトン (図4: ●)
	底生生物 (図2: ●)
	魚卵・稚仔魚 (図4: ●)
	魚介類 (図4: ●: 底生類 ■: 群 ▲: 遊動)
付着動物 (図4: ●)	
陸生動物	鳥類 (図4: ●)

植物

工事によって発生する土砂の濁り等が、水生植物に影響を及ぼす可能性が考えられることや、存在・供用時の流況、水質、底質、地形等の変化が、水生植物及び陸生植物の生育に影響を及ぼす可能性が考えられることから、長期的な状況を把握するために、工事中から調査を実施します。

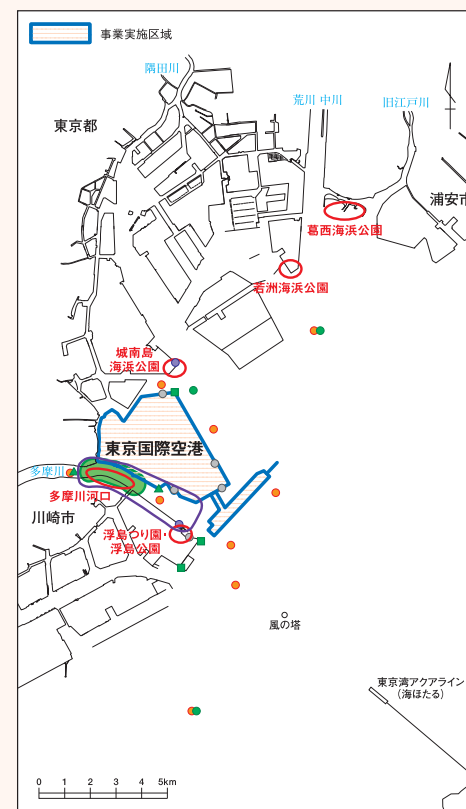
水生動物	植物プランクトン (図4: ●)
	付着植物 (図4: ●)
陸生動物	塩沼植物群落 (図4: ■)

生態系

工事によって発生する土砂の濁り等や、存在・供用時の流況、水質、底質、地形、動植物の生育・生息環境の変化は生態系に影響を及ぼす可能性が考えられることから、長期的な状況を把握するために、工事中から調査を実施します。

干潟生態系 (図4: ○)	底質、地形、水生動物、陸生動物、水生植物、陸生植物等
---------------	----------------------------

図4 動物、植物、生態系調査点 人と自然との触れ合いの活動の場調査範囲



人と自然との触れ合いの活動の場

工事によって発生する土砂の濁りや悪臭が、主要な人と自然との触れ合いの活動の場に影響を及ぼす可能性が考えられることから、調査を実施します。

人と自然との触れ合いの活動の場 (図4: ○)	浮島つり園・浮島町公園、多摩川河口、城南島海浜公園、若洲海浜公園、葛西海浜公園
-------------------------	---

廃棄物等

工事による一時的な影響や、副産物の発生が考えられることから、調査を実施します。

温室効果ガス等

建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行、護岸の工事及び埋立ての工事に伴い、二酸化炭素の排出が考えられ、その状況を把握するために調査を実施します。